
「新しい社会」

臨時休業明けの

年間指導計画参考資料

【3年】

- ※「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」の活動内容や時数は考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- ※以下の案では、第3学年の総時数70時間のうち、11時間を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」として提示しています。
- ※「学校のまわり」「市の様子」の学習については、社会科の最初の学習であることをふまえ、ご授業で丁寧にご指導いただけるよう、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」の時間は設定しておりません。

東京書籍

単元名	1. わたしのまち みんなのまち (オリエンテーション)			教科書のページ	p. 6~7
配当時数	1 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動 1 時間)	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場に おいて行うことが考え られる教材・学習活動
(1) オリエンテーション ・何があるかな。どのような人がいるかな。何をしているのかな。 p. 6~7	1	<p>①教科書のイラストを見ながら、まちの様子について知っていることや気づいたこと、疑問に思ったことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一軒家、マンション、デパート、商店街などいろいろな建物がある。 ・大きな通りや、細くて曲がった道がある。 ・鉄道の駅には、多くの人が集まっている。 ・さまざまな種類の車が走っている。 ・郵便配達中の人や、消防訓練をしている人がいる。 ・さまざまな人が、さまざまなことをしている。 	<p>◆キャラクターのせりふから、働いている人の姿に注目させる。</p>	教科書のイラストを見て、「何があるかな。どのような人がいるかな。何をしているのかな。」という問い合わせについて、気づいたことや疑問に思ったことをノート書く。【1時間】

めあて わたしたちのまちは、どのような様子なのでしょうか。

小単元名	○学校のまわり			教科書のページ	p. 8~13
配当時数	3 時間 (学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし)	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1) アー(ア)(イ), イー(ア)

小単元の目標		学校のまわりの様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめるなどで学校のまわりの様子をとらえ、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域の様子を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	身近な地域の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、身近な地域の様子を理解している。
	思考・判断・表現	身近な地域の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問い合わせを見出し、身近な地域の様子について考え方表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	身近な地域の様子について、予想したり、主体的に調べようとしたりしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行なうことが考えられる教材・学習活動
(1) 学校の東西南北				★他教科との関連：理科
・高いところから、学校のまわりの様子をかんさつしてみましょう。 p. 8~9	1	<p>①高いところから学校のまわりの様子を観察して、気づいたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南には公園や地下鉄の駅がある。 ・学校の北側には公園がある。 ・駅のそばに郵便局がある。 <p>②絵地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵地図に四方位があると説明しやすい。 <p>学校の東西南北には、さまざまな場所がある。</p>	<p>◆四方位を使って学校のまわりの様子を説明させる。</p> <p>◆大きな白地図に、教師が事前に撮影した特徴のある場所の写真を貼っていく。</p>	

<p>(2) くわしい地図を見てみると</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生の地図を見て、気づいたことを話し合いましょう。 <p>p. 10~11</p>			
• 先生の地図を見て、気づいたことを話し合いましょう。 p. 10~11	1	<ul style="list-style-type: none"> ①地図を見て気づいたことを話し合う。 ・決まった地図記号を使うとだれでもわかる。 ・広い道路は地図でも太く書いてある。場所によって道路の幅が違う。 ・寺の地図記号が集まっている場所がある。 ・地図から土地の様子がわかる。 <p>地図記号が書かれた地図はだれが見てもわかりやすく、土地の様子を表している。広い道の下には地下鉄が通つており、ほかにも建物が集まっている。</p>	<p>◆前時の絵地図に地図記号を貼っていく。</p> <p>◆家の多いところ、店の多いところなどは、囲みをつけたり斜線を引いたりしてわかるようにする。</p> <p>◆市の様子の学習の前に、実際に行かなくても地図を見るとさまざまなことがわかることの面白さを実感させる。</p>
<p>(3) 学校のまわりのたて物</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校のまわりのたて物について調べてみましょう。 <p>p. 12~13</p> <p>※代わりに、実際に特徴的な建物や土地利用の様子を見学に行く計画も考えられる（その場合、p. 6~7 のオリエンテーションの時間などを見学の時間に充当し、見学を 2 時間とすることが考えられる）。</p>			
• 学校のまわりのたて物について調べてみましょう。 p. 12~13	1	<ul style="list-style-type: none"> ①学校のまわりにはどのような建物があるか話し合う。 ・公民館、消防署、鋼板がある。 ・みんなが使う建物や場所を公共施設という。 ・神社や寺、店、銭湯など古くからある建物がある。 <p>②学校のまわりの航空写真を見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の北側には海がある。 ・高い建物が集まる場所と低い家が集まる場所がある。 ・高速道路はどこまで続いているのだろう。 ・福岡市全体はどのような様子なのだろう。 <p>学校のまわりには公共施設や古くからある建物があり、いろいろな様子の場所がある。</p>	<p>◆学校のまわりの建物に注目して様子の違いをとらえさせる。</p> <p>◆航空写真を用いて学校のまわりよりも広範囲の様子に興味を持たせ、市の様子がどうなっているのか調べてみたいといふ意欲につなげる。</p>

小単元名	1. 市の様子			教科書のページ	p. 14~33
配当時数	12 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動なし)	活動時期	4~6 月	学習指導要領 の内容	(1)ア~(ア)(イ), イ~ (ア)

小単元の目標		市の様子について、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べ、まとめることで市の様子をとらえ、場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	①都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、市の様子を理解している。
	思考・判断・表現	①都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問い合わせ出し、市の様子について考え表現している。 ②場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連付けたりして考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①市の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1)空から見て				
・つかむ 空から市の様子をとった写真を見て、気づいたことを話し合いましょう。 p. 14~15	1	①航空写真を見て、気づいたことや、市の施設や様子でわかっていることを発表し合う。 • 海の方にまちが広がっている。 • 高速道路や鉄道がある。 • 山(緑)や島がある。 • まちには高いビルや大きな駅がある。 • 海のそばにも建物がたくさんある。 学校のまわりにもさまざまな場所があったが、市にも同じようにさまざまな場所がある。	◆市の様子を概観し、特徴ある地域の様子に気づかせる。 ◆自分たちの市や学校がどのあたりにあるのか探し出すようにする。	
(2)市の地図を見て				
・つかむ わたしたちの市はどこにあり、また、どのようなところがあるか話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 16~17	1	①市の地図や写真を見て、知っている場所を紹介し合う。 • 天神駅の近くに福岡市役所がある。 • 博多港のまわり	◆紹介する場所を、学校から見た八方位を使って方角を考えさせる。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・油山の牧場 ・福岡城のあと ②教科書の地図や地図帳で、市の形や位置を確認する。 ・福岡市はおもしろい形をしている。 ・福岡市は、福岡県の中で西側にある。 ・たくさんの市や町に接している。 ・市には7つの区がある。 ・市にはいろいろな場所があり、そこで人々が生活している。 <p>学習問題 わたしたちの市は、どのような様子なのでしょうか。</p>		
(3)学習の進め方	1	<p>①小単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。</p> <p>②学習問題について、予想を立て、実際に見学したり、インターネットやガイドブック、写真や地図、他校への手紙などで調査したりして、市の様子を調べる計画を立てる。</p> <p>[調べること]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の高さや広がり ・土地の使われ方 ・交通の様子 ・公共施設の場所と働き ・古くから残る建物 	<p>◆問題解決的な学習の進め方について学ばせる。</p> <p>◆今後の社会科学全般に関わる基礎的な学びなので、丁寧に指導する。先々の学習においても立ち返り、活用するとよいことも指導する。</p> <p>◆内容だけでなく、調べ方やまとめ方も指導する。</p>	★他教科との関連：国語

(4)市の土地の高さや広がり

<p>・調べる 福岡市の土地の高さや広がりは、どのようになっているのでしょうか。 p. 20~21</p>	<p>1</p>	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山のほうとまちのほうでは様子が全然違う。 ・低い土地にまちが広がっている。 ・海岸や島がある。 ・那珂川という川が流れている。 <p>②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことや、考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の南の山のほうは土地が高い。 ・低いところには家や店が多い。 ・島の南側に家や店があるようだ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>福岡市の地形は、海に面した北側が土地が低く、南に向かうほどだんだん土地が高くなっている。西側は開けた土地がある。</p> </div>	<p>◆市内には山、街、海岸、島といった景観が異なる場所があることに気づかせる。</p> <p>◆港の海岸線がまっすぐな理由を考えさせる。</p> <p>◆地図記号を読み解くことで、行ったことがない場所でも土地の高低や人が住んでいる地域がわかる気に気づかせる。</p>	
---	----------	---	--	--

(5)市の土地の使われ方

・調べる 福岡市の土地は、どのように使われているのでしょうか。

p. 22~23

1

- ①調べてわかったことを発表し合う。
 - ・高い建物はまとまって建っている。
 - ・埋め立て地には工場や大きな建物が多い。
 - ・山には牧場がつくられている。
- ②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことや、考えたことを話し合う。
 - ・港の海岸線は船をとめやすいようにまつすぐになっている。
 - ・店が多く高い建物が目立つところは大きな駅の近くにまとまっている。
 - ・家や店の多いところは市の中央と西に広がり、市の西側には田や畑が多い。

◆川の近くの土地は田畠に利用され、港付近は工場や倉庫があることに気づかせ、人々は土地の特徴を生かして土地を利用していることを考えさせる。

◆工場の地図記号を調べて記入する作業を通して、地図記号を読み解くことで土地の様子がわかる気に気づかせる。

福岡市は、大きな船がとまる港の近くに工場が集まり、市の中心部には商店や住宅が集まっている。開けた土地は田や畠に利用されている。

(6)市の交通の様子

<p>・調べる 福岡市の交通は、どのように広がっているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p. 24~25</p>	<p>1</p>	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博多駅から新幹線に乗ことができて、駅前には大きなバスターミナルがある。 ・車で高速道路を走っていると、港に大きな船がとまっているのが見える。 ・福岡市には空港もあって飛行機に乗れる。 <p>②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことをもとに、考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸線に沿って鉄道や高速道路が通っている。 ・博多港や福岡空港から外国に行くことができる。 ・高速道路や地下鉄も通り、仕事などで市の中心に行くにも便利なようになっている。 <p>福岡市には、新幹線、鉄道、地下鉄、高速道路などの交通が広がり、人々の移動や輸送に便利である。</p>	<p>◆高速道路が港を通っていることから物資の運搬に役立っていること、人がたくさん集まるところに交通機関が集まっていることに気づかせる。</p> <p>◆福岡市には多様な交通機関があり、人々の便利な生活を支えていることに気づかせる。</p>	
---	----------	---	--	--

(7) 市の公共しせつ			
・調べる 福岡市の公共しせつはどこにあり、どのようなはたらきをしているのでしょうか。 p. 26~27	1	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学館、博物館なども福岡市の公共施設であることがわかった。 ・市役所では市民のくらしに関わる仕事をしている。 ・災害時の避難場所も教えてくれる。 <p>②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことをもとに、考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図記号を見ると、多くの人が行きやすいように、鉄道に沿って公共施設があることがわかる。 ・警察署、消防署、図書館がたくさんある。 ・市にはたくさんの公共施設がある。 <p>福岡市の中心部には市役所などの公共施設があり、市民のくらし、教育、健康福祉、観光や産業を支えている。災害時の避難場所も指定している。</p>	<p>◆鉄道沿いにあることに注目させて市民が利用しやすくなっていることに気づかせる。</p> <p>◆公共施設の数や位置は種類によってどのような違いがあるのか考えさせる。</p>
(8) 市に古くからのこるたて物			
・調べる 福岡市にのこる古いたて物には、どのようなものがあるのでしょうか。 p. 28~29	1	<p>①調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・櫛田神社は博多祇園山笠のお祭りの出発地となっている。外国からの観光客も来る。 ・赤煉瓦文化館は外国の影響を受けている。 ・福岡城は400年以前に築かれた。 ・古くから残る建物や地区にはいわがある。 <p>②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことをもとに、考えたことを話</p>	<p>◆古くから残る建物がある場所は現在でも人が集まるところであり、大事にされてきたことに気づかせる。</p> <p>◆福岡城潮見やぐらや、湾岸の直線的な埋立地の部分を取り除い</p>

		<p>し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神社や寺は博多区に多くあり、博多町家ふるさと館には昔のくらしの展示がある。 ・地図記号はお城や神社の鳥居の形に似ているからわかりやすい。 <p>福岡市内には、古くから残る神社、寺院、家屋などの建造物や、城跡があり、博多区や中央区に多く分布している。</p>	<p>て考えると、福岡は歴史的に海に沿って発展してきたことに気づかせる。</p>	
--	--	--	--	--

(9) (10) 市のとく色やよさをまとめよう

<p>・まとめる 調べたことをもとに、市の様子をまとめてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p. 30~31</p>	2	<p>①これまでに調べたことをもとに福岡市の特色やよさについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山、海、川があって自然が豊か。 ・交通が広がり、にぎやかで、外国にも行ける。 ・公共施設がたくさんある。 <p>②話し合ったことを紹介地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅が多いところ、緑が多いところ、田畠が多いところで色分けする。 ・福岡市にはたくさんの自慢できるよさがある。 <p>わたしたちが住む福岡市には、さまざまな場所があり、それぞれ地形や土地利用、交通の広がり、公共施設の位置、古くから残る建物の分布など、市内の様子は場所によって違いがある。</p>	<p>◆特色については土地の様子、使われ方、交通、公共施設、古くから残る建造物などの視点を生かしてまとめさせる。</p> <p>◆作成した紹介地図を使って説明するなどまとめを深めさせたい。</p>	
---	---	---	--	--

(11) (12) 地図を使って考えをつたえ合う

<p>・いかす 学習したことをもとに、市の場所によるちがいをいかして、「こんなときどうする」を考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p. 32~33</p>	2	<p>①学習してきたことを生かして、「こんなときどうする」カードをもとに地図を使って考えを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人のお客さんを 	<p>◆「こんなときどうする」という設定について話して設定してもよい。学習したこ</p>	
---	---	--	--	--

		<p>案内する。</p> <ul style="list-style-type: none">・パン屋さんを開く。・友達に福岡市を案内する。・災害時の避難場所を探す。 <p>②発表を聞いて考えのよいところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・調べたことをもとにわかりやすく伝えることができた。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>わたしたちは必要に応じて市内の特色を生かして、よりよい生活を送っている。</p></div>	とを生かして理由を述べるようになる。	
--	--	--	--------------------	--

単元名	2. はたらく人とわたしたちのくらし (オリエンテーション)			教科書のページ	p. 36~37
配当時数	1 時間 (学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし)	活動時期	6月	学習指導要領の内容	(2) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) まちの人たちの仕事				
<p>・わたしたちのくらすまちは、どのような仕事をしている人たちがいるでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p. 36~37</p>	1	<p>①まちの働く人について、どのような仕事をしている人がいるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の西側に多い田や畑では、米や野菜をつくっている人たちがいた。 ・市の北側には工場が多くかった。働いている人がたくさんいると思う。 ・通学路にあるスーパーマーケットでは、いつもたくさん的人が働いている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて わたしたちのまちではたらく人の仕事の様子や、仕事とわたしたちの生活とのつながりを調べてみましょう。</p> </div>	<p>◆前単元の学習や、日常生活で出会う人々の仕事に注目させる。</p>	

小単元名	1. 農家の仕事			教科書のページ	p. 38~51
配当時数	11 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動 2 時間)	活動時期	6~9 月	学習指導要領の内容	(2)ア~(ア) (ウ), イ~(ア)

小単元の目標		地域に見られる農家の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめてることで生産に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、農家の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①農家の仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	①農家の仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、問い合わせを見出し、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え方表現している。 ②生産の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 市でつくられるやさいやくだもの				★他教科との関連：算数
・つかむ わたしたちの市では、どのような作物がつくられているのでしょうか。 p. 38~39	1	<p>①地域でつくられている作物を探し、つくられている場所や生産額を調べ、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市では、いちごやトマト、大根が多くつくられていることが棒グラフからわかる。 ・地図からいろいろな野菜や果物がつくられていることがわかった。 <p>わたしたちの住む福岡市では、さまざまな野菜や果物がつくられている。</p>	<p>◆市の主な野菜や果物の生産額の棒グラフに着目させて、地域の野菜や果物の生産額を調べさせる。</p> <p>◆市内でつくられる農産物について、どこで、どのようなものがつくられているのか産地の分布に着目させる。</p> <p>◆調べた内容から疑問をもたせ、次時へつなげさせる。</p>	<p>※学習問題づくりについて、何を基に、どのように活動するのか、次時の①について説明をする。</p>

(2)(3)特産品のあまおう				
・つかむ いちごづくりについて、気づいたことやぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 40~41	2	<p>①いちごづくりについて知っていることを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまおうはおいしい。 ・元岡地区でつくられている。 ・畑やビニールハウスでつくられている。 <p>②あまおうについて疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の人はどんな仕事をしているのだろう。 ・なぜ夜にビニールハウスに明かりがついているのか。 ・おいしくするための工夫がありそうだ。 	<p>◆あまおうについて知っていることを自由に話させ、わからないことや不思議に思うことを話し合わせる。</p>	<p>前時の学習、教科書の写真資料や自身の生活経験をもとに、市でつくれるいちごについて知っていることや疑問に思ったことをノートに書く。【第2時(1時間)】</p> <p>※第3時は授業を行い、ノートをもとに気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p>

(4)あまおうづくりの1年間				
・調べる 農家では、1年間どのように仕事をしているのでしょうか。 p. 42~43	1	<p>①「まなび方コーナー」から見学のしかたを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察のしかた ・質問のしかた ・記録のしかた <p>②あまおうを育てる1年間の仕事について農家の方に話を聞き、わかったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫のときには、もう次の年の苗を育てている。 ・寒くなる11月ごろから、ビニールハウスで電照をしたり、暖房をつけたりしている。 ・季節の変化に合わせて作業している。 <p>農家では、季節の変化に合わせた工夫をしながら、1年間計画的にあまおうをつくっている。</p>	<p>◆見学のしかたを学ぶために「まなび方コーナー」を活用する。</p> <p>◆作物の栽培の様子を年間のカレンダーにして、視覚的にとらえさせるとよい。</p>	

(5) (6) あまおうの畑で見つけたよ				
・調べる あまおうはどのようにつくられているのでしょうか。 p. 44~45	2	<p>①疑問に思ったことを整理して農家の方に質問し、わかったことをメモする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土づくり ・ビニールハウス ・苗づくり ・大きな冷蔵庫 ・みつばち <p>農家では、自然条件を生かしてあまおうをつくるほか、棚の上で栽培したり、畑とビニールハウスを使うなどさまざまな工夫をしている。</p>	<p>◆質問する内容を事前にまとめさせておく。</p> <p>◆日当たりや、水はけのよさや土地の広がりなど地理的な諸条件と関連付ける。</p>	
(7) (8) くふうがつまたあまおうづくり				★他教科との関連：理科
・調べる あまおうづくりには、どのようにふうや努力があるのでしょうか。 p. 46~47	2	<p>①農家の浜地さんの畑を見学したり話を聞いたりして、疑問に思ったこと、気づいたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棚の上で栽培する(高設栽培)。 ・苗を大切に育てる。 ・みつばちなどの生き物の力を借りる。 ・ビニールハウスを使うことで、冬でも収穫できる。 <p>農家では、おいしいあまおうをつくるために、苗づくりや栽培設備にさまざまな工夫をしている。また、ビニールハウス内で電照や暖房をすることで、冬でもたくさんあまおうを収穫できるよう工夫している。</p>	<p>◆あまおうづくりの工夫や努力についてより詳しく知りたいことをまとめさせておく。</p> <p>◆棚の上やビニールハウスでの栽培や苗づくりの工夫、みつばちの活用などは、いちご以外の農産物にも適用しているのか、ほかの農産物の生産方法と比較する。</p>	
(9) (10) いよいよしゅうかく				
・調べる わたしたちの生活とあまおうにはどのようなかかわりがあるのでしょうか。 p. 48~49	2	<p>①あまおうの収穫と出荷について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つずつ手作業で収穫する。 ・パック詰めも手作業で行う。 ・収穫後は市の中央市場に送り、その後、スーパー・マーケットなどに送られる。 ・地域でとれた作物が 	<p>◆出荷先を地図帳などで確認する。</p> <p>◆他地域、外国ともつながっていることを明らかにする。</p> <p>◆収穫したあまおうの出荷先の位置に着目する。</p>	

		<p>外国に送られることもある。</p> <p>あまおうの収穫は、朝早くから手作業で行われている。収穫されたあまおうは、市内だけでなく、近隣の市や他県や外国にも送られている。</p>		<p>※学習のまとめ方について、何を基に、どのようにまとめるのか、次時の①②について説明をする。</p>
(11)せんでんシールを考える				
・まとめる これまでの学習をふり返り、あまおうをせんでんするシールの案を考えましょう。 p. 50~51	1	<p>①調べた内容をもとに、あまおうを宣伝するシールの案を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間、たくさんの手間をかけてつくっていた。 ・おいしくつくるための工夫もたくさんあった。 <p>②調べてきたことをもとに、学習問題についてわかったことや考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまおうづくりの工夫 ・季節に合わせた育て方 ・収穫、送り先 ・わかったことをみんなに伝えたいな。 <p>あまおう農家では、ビニールハウスなどの設備を使い、季節に合わせた育て方をするなど、おいしいあまおうをたくさんつくるためにさまざまな工夫をしている。また、つくられたあまおうは市の中卸売市場から市内外の店に運ばれて販売され、地域の人々の生活と密接な関わりがある。</p>	<p>◆調べた内容をもとに宣伝シールを考えさせる。</p> <p>◆学習問題についてわかったことや考えたことをノートに書かせる。</p>	<p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、あまおうを宣伝するシールの案をつくり、わかったことや考えたことをノートに書く。【1時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元名	1. 工場の仕事			教科書のページ	p. 52~65
配当時数	11 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動 2 時間)	活動時期	6~9 月	学習指導要領の内容	(2)ア~(ア) (ウ), イ~(ア)

小単元の目標		地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめてることで生産に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	①工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などに着目して、問い合わせを見出し、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え方表現している。 ②工場の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、ふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1)福岡市のおみやげ				★他教科との関連：算数
・つかむ　わたしたちの市の工場では、どのようなものをつくっているのでしょうか。 p. 52~53	1	<p>①地域の工場でつくられているものを探し、工場の分布やグラフから、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場が集まっている地域がある。 ・食べ物や飲み物をつくる工場が多い。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> わたしたちの住む福岡市にはさまざまなものをつくる工場があり、博多港の近くに多く分布している。また、特に、食べ物や飲み物をつくる工場が多い。 </div>	<p>◆自分たちの住む地域でつくられているものがあることに気づかせる。</p> <p>◆市内の工場について、どこで、どのようなものがつくられているのか、工場の分布をとらえる。</p>	<p>※学習問題づくりについて、何を基に、どのように活動するのか、次時の①について説明をする。</p>

(2)(3)見学の計画を立てる				
・つかむ おかし工場について気づいたことやぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 54~55	2	<p>①お菓子や工場について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お土産に買っていくことが多い。 ・福岡市やその近くにしか店がないそうだ。 <p>②お菓子の生産について疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場ではどんな仕事をしているのだろう。 ・おいしくするための工夫がありそうだ。 <p>学習問題 工場では、おかしをおいしく、たくさんつくるために、どのような仕事をしているのでしょうか。</p>	<p>◆地域で生産され、多くの人に知られている名産品に関する心をもたせる。</p> <p>◆調べたいことや疑問に思ったことを板書でまとめ、観点を明らかにする。</p>	前時の学習、教科書の写真資料や自身の生活経験をもとに、市でつくれるお菓子について知っていることや疑問に思ったことをノートに書く。【第2時(1時間)】
(4)おかしができるまで				
★他教科との関連：算数				
・調べる おかしはどのようにつくられているのでしょうか。 p. 56~57	1	<p>①お菓子工場を見学し、疑問に思ったこと、気づいたことをまとめること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地づくり、あんづくり ・形をつくる ・焼き上げる ・確認 ・袋詰め、箱詰め <p>工場では、機械と人の手を有効に使って、流れ作業でお菓子をつくっている。</p>	<p>◆事前に見学のしかたを指導し、見学する内容を確認させる。</p> <p>◆生産工程に着目して、生産に携わる人々の工夫と関連付ける。</p>	
(5)(6)おかしの原料				
・調べる おかしの原料は、どこから運ばれてきているのでしょうか。 p. 58~59	2	<p>①お菓子の原料について、工場の方にインタビューし、ノートや見学メモにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料は、手に入るもので一番よいものを、国内だけでなく外国からも取り寄せている。 <p>お菓子の原料の小麦粉や卵などは、他県や外国からも仕入れている。</p>	<p>◆原料の仕入れ先を地図で確認し、地理的な広がり(空間)でとらえさせる。</p> <p>◆原料の小麦やいんげん豆が外国から運ばれていることから、外国とのつながりに</p>	

			気づかせる。
(7) (8) はたらく人のくふう			
・調べる おかし工場では、どのようにふうをしていくのでしょうか。 p. 60~61	2	<p>①疑問に思ったことを整理して工場の方に質問し、わかったことをメモする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度や水分管理の工夫、焼き具合の確認。 ・衛生面での工夫。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 安全でおいしいお菓子をたくさんつくるために、工場で働く人はいろいろな工夫をしている。 </div>	<p>◆質問する内容を事前にまとめさせておく。</p> <p>◆仕事の内容を機械、手作業に分類させる。</p> <p>◆工場で働く人の工夫に着目して、仕事の内容をとらえる。</p>
(9) (10) 地いきとのかかわり			
・調べる 工場は、地いきとどのようにかかわっているのでしょうか。 p. 62~63	2	<p>①お菓子の出荷や、働く人がどこから来ているのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話やインターネットで注文を受けて、全国へ発送している。 ・工場で働く人は、市内だけでなくほかの市や町から、地下鉄やバス、車などで通勤している。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 工場でつくられているお菓子は、市内を中心とした販売店で売られている。工場で働く人は、近くのほかの市や町からも来ていて、まわりの地域と関わりあって、福岡市のよさを伝えるお菓子ができる。 </div>	<p>◆出荷先を地図で確認する。</p> <p>◆働く人が使用している交通機関も確認し、他地域とのつながりを確認する。</p> <p>◆製品の出荷先や工場で働く人がどこから来るのかなど位置や広がりに着目する。</p>
(11)せんでんシールを考える			
・まとめる これまでの学習をふり返り、おかしをせんでんするシールの案を考えましょう。 p. 64~65	1	<p>①調べた内容をもとに、お菓子を宣伝するシールの案を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面に気をつけて、人がする作業と機械がする作業を使い分けている。 ・おいしくつくるための工夫もたくさんあった。 <p>②調べた内容をもとに、学習問題についてわかったことや考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面 	<p>◆調べた内容を板書に整理して、ノートや宣伝シールにまとめさせる。</p> <p>◆学習問題についてまとめをするとともに、自分の考えを書かせ</p>

		<ul style="list-style-type: none">・よい原料の確保・おいしいつくり方・出荷、送り先 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>お菓子工場で働く人々は、おいしいお菓子をたくさんつくるために、衛生面に気をつけ、さまざまな工夫をして仕事をしている。また、お菓子は市内を中心に販売され、福岡市のお土産として知られているなど、地域の人々の生活と密接な関わりがある。</p></div>	る。	
--	--	---	----	--

小単元名	2. 店ではたらく人			教科書のページ	p. 66~87
配当時数	15 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動 2 時間)	活動時期	9~11 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売のしかた、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで販売に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①消費者の願い、販売のしかた、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	①消費者の願い、販売のしかた、他地域や外国との関わりなどに着目して、問い合わせを見出し、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え方表現している。 ②地域に見られる販売の仕事と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場における行うことが考えられる教材・学習活動
(1) よく行く店				
・つかむ わたしたちは、どのような店で買い物をしていけるのでしょうか。 p. 66~67	1	<p>①普段、家の人とよく行く店を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー・マーケットによく行くよ。品物がたくさんある。 ・商店街の八百屋さんに行くよ。時々おまけしてくれる。 <p>②よく行く店を白地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠いところにも近いところにも店は多くある。 <p>地域には、さまざまな種類のお店がある。</p> <p>③よく行く店を家の人聞いてくるという見通しをもつ。</p>	<p>◆よく行く店や利用する理由を確かめるために、家族にインタビューすることを伝える。</p>	<p>※買い物調べについて、何を基に、どのように活動するのか、次時の①について説明をする。</p>

(2)(3)買い物調べ				
・つかむ 家の人は、なぜその店に行くのでしょうか。 p. 68~69	2	<p>①家の人に質問するカードをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく行く店はどこか。 ・なぜその店に行くのか。 <p>②買い物調べの結果をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー・マーケットに買い物に行く家が多い。 <p>利用する理由は店によって異なるが、家の人たちがよく利用するのはスーパー・マーケットである。</p>	<p>◆買い物調べの計画を立てる際に、質問することを整理する。</p> <p>◆買い物調べの結果を表やグラフにまとめさせる。</p>	p. 68の「まなび方コーナー」などを参考に、質問カードをつくり、家の人の買い物について調べてカードに書く。【第2時(1時間)】
(4)スーパー・マーケットのよいところ				
・つかむ スーパー・マーケットに買い物に行く人が多いのはなぜなのか話し合って、学習問題をつくり、学習計画を立てましょう。 p. 70~71	1	<p>①スーパー・マーケットに行く人が多い理由を発表し、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品物を見つけやすくしているのではないか。 ・野菜や果物はとれる場所や季節を考えて売っているのではないか。 ・駐車場を広くしているのではないか。 ・ちらしがあるのでどんなものが安いかわかりやすい。 <p>学習問題 スーパー・マーケットではたらく人は、多くの人々に買い物をしてもらうために、どのようにふうをしているのでしょうか。</p> <p>②学習問題について予想し、学習計画を立てる。 [調べること]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品物を見つけやすくしたり、品物のよさを伝えたりするための工夫 ・働く人の仕事 ・品物の並べ方 ・お客様が来るための工夫 ・売り上げを上げるための工夫 <p>[調べ方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学 ・インタビュー ・メモの取り方 <p>[まとめ方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かべ新聞にまとめる。 	<p>◆スーパー・マーケットのよいところを発表させるとともに、その意味を問い合わせて予想されることを通して、学習問題づくりにつなげる。</p> <p>◆「消費」と「販売」との関係を問い合わせながら、予想を立てやすくする。</p>	※第3時は授業で行い、各自のカードを集計し、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。

(5) (6) スーパーマーケットの様子				
・調べる スーパーマーケットの売り場は、どのようになっているのでしょうか。 p. 72~75	2	<p>①スーパーで見学、もしくは教科書の挿絵を見て気づいたことを話し合う。</p> <p>[観察の視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買えるものとその場所 ・買いたいものの見つけやすさ ・値段 ・買い物のしやすさ ・働く人の様子 など <p>スーパーでは、たくさんの商品が販売されている。また、たくさんの人たちが仕事をしている。</p>	<p>◆売り場の資料を観察する際には、「買う人がスーパーを利用したくなる理由」を探すよう、観察の視点を明確にする。</p>	
(7) (8) 店で発見				
・調べる スーパーマーケットの売り場には、どのようなひみつがあるのでしょうか。 p. 76~77	2	<p>①売り場を見学して、わかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板：どこに何があるかがわかる。品物の値段や特徴が大きく書かれている。 ・コンシェルジュ：お客様係で何でも聞いてくださいと言っていた。 <p>スーパーの売り場には、買い物をする人がわかりやすいように看板などを使ったり、コンシェルジュがお客様の質問に答えるようにしたりしているなど、さまざまな工夫がある。</p>	<p>◆看板を見てわかるなどを明らかにしたり、コンシェルジュのよさを調べたりすることを通して、売り場の工夫に結び付けていく。</p> <p>◆自宅近くにあるスーパーと、店の様子や販売の工夫について比較する。</p>	
(9) (10) はたらく人にインタビュー				
・調べる スーパーマーケットではたらく人は、どのような仕事をしているのでしょうか。 p. 78~79	2	<p>①スーパーで働く人にインタビューしたり、買う人の願いを考えたりして、スーパーで働く人の仕事について調べる。</p> <p>[スーパーで働く人の仕事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足りないものを注文したり並べたりする。 ・見やすい場所に並べる。 ・食べ方を伝える。 ・売り場の外(バックヤード) 	<p>◆「売り場ではたらく牟田口さんの話」と写真資料とを結び付けたり、p. 79 の写真資料をじっくりと読み取ったりして、働く人々の仕事の内容を具体的にする。</p> <p>◆買う人の願いと店の人の動</p>	

		<p>ド)の仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果物を切る。機械で肉を加工する。惣菜をパックする。など ・お客様のニーズに合わせて対応している。 <p>スーパーで働く人々は、商品の注文や陳列をしたり、商品を加工・包装したりするなど、さまざまな取り組みをして、お客様がたくさん来るよう工夫している。</p>	<p>きを対応させて、人々の願いに応じて店の人は対応していることに気づかせたい。</p>	
(11) 品物はどこから				★他教科との関連：外国語
・調べる たくさんの品物は、どこから運ばれてくるのでしょうか。 p. 80~81	1	<p>①スーパーの品物の産地を調べ、他地域とのつながりを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜や果物などに表示されている産地を見ればわかる。 ・店で売られている商品には、ほかの市や県、外国などの他地域でつくられたものもある。 ・売り場で働く人は、旬のものを仕入れるようにしている。 ・他地域から来た商品が、わたしたちの日々の生活を支えている。 <p>スーパーに並ぶ多くの品物は、国内だけではなく海外も含めた、他地域との関わりによって成り立っている。</p>	<p>◆看板、シールのほかに、例えば折込ちらしなどを活用して品物の産地を明らかにする。</p> <p>◆地図を活用して位置を調べる。また、教科書 p. 80~81 の「品物はどこから」をもとにして調べたことをノートにまとめることもできる。</p> <p>◆スーパーに並ぶ品物はどこから来たのかに着目する。</p>	
(12) たくさんのお客さんが来るひみつ				
・調べる たくさんのお客さんが来るのは、なぜでしょうか。 p. 82~83	1	<p>①お客様にインタビューして、今まで調べたこと以外のスーパーのよさを明らかにするとともに、お客様がスーパーを利用する理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった人の写真がある：産地がはっきりしているので、安心。 ・旬のもの：おいしく食べられる時期のものを売っている。 ・広い駐車場：遠くから 	<p>◆お客様がどこから来たのか、また、店の気に入っているところなどについて質問させる。</p> <p>◆お客様の願いと店の工夫について話しながら結びつきを考えさせる。その際、お客様</p>	

		<p>来るお客様もゆっくり買い物できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当：種類が多い、夜遅くでも買い物ができる。 <p>スーパーで働く人々は、お客様の多様なニーズに応えるためのさまざまなサービスをしており、それらの工夫が店の売り上げを高めることにつながっている。</p>	のニーズと販売の工夫を関連付ける。	
--	--	--	-------------------	--

(13) まちの人とともに

- ・調べる スーパーマーケットは、品物を売ることのほかに、どのような取り組みをしているのでしょうか。

p. 84~85

	1	<p>①スーパーは品物を売ること以外にどのような取り組みをしているかを調べ、特色を明らかにする。 [環境を守るために]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルコーナー 牛乳パック、食品トレーラー <p>[だれもが利用しやすいように]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすの貸し出し ・お年よりや障がいのある人専用の駐車場 ・コンシェルジュお客様の買い物の相談をする→地域貢献 <p>スーパーでは、商品を売る以外に、だれもが利用しやすいよう店の設備を整えたり、買い物の手伝いをしたりするなど、地域の人々に役立つ地域貢献に取り組んでいる。</p>	<p>◆写真資料や「ことば」、「コンシェルジュの中里さんの話」などを丁寧に調べ、取り組みの特色を明らかにする。</p>	<p>※学習のまとめ方について、何を基に、どのようにまとめるのか、次時の①について説明をし、壁新聞の記事の分担を決める。</p>
--	---	--	---	--

(14) (15) かべ新聞にまとめる

- ・まとめる スーパーマーケットではたらく人のくふうについてかべ新聞にまとめましょう。

p. 86~87

	2	<p>①調べたことをふり返りながら、学習問題についてまとめる。 [働く人の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所や値段の表示：見やすくしてほしい ・仕入れ：産地、旬、品質のよさ ・駐車場：車の利用、たくさん買い物 ・品揃え：さまざまな買い物 ・おいしさ：出来立ての 	<p>◆今までの学習を想起し、「働く人の工夫」と「お客様の願い」との関連を明らかにしながら板書に位置付ける。</p>	<p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、スーパーのくふうについて壁新聞の記事を書く。 【第 14 時（1 時間）】</p> <p>※第 14 時で各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認</p>
--	---	--	--	---

		<p>물을 배열하는, 구운 빵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・콘シェ르주: 구매 물품의 도움이나 상담 ・차이스 등: 장애가 있는 사람이 구매할 수 있도록 하는 것 ・지역 기여: 리사이클 코너 <p>②고객님의 바람과, 일하는 사람의 노력을 결합한 결부에 대해 생각하는 것</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>판매의 업무에 종사하는 모든 사람은, 고객님의 다양한 바람을 고려해 판매를 높이는 노력을 기울이고 있다.</p> </div>	<p>◆ 벽신문에まとめる際には、学習問題について調べた内容や考えたことを記事とするよう に促す。</p>	<p>하는。제15회는 수업으로 행해지며, 각각의 기사를 바탕으로, 벽신문을 완성시킨다. 고객님의 바람과 일하는 사람의 노력을 결합한 결부에 대해 이야기하고, 학습의 요약을 한다.</p>
--	--	--	---	---

(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1 時間)

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) ていあん文を書く				★他教科との関連：国語
・いかす これまでの学習をもとに、市ではたく人の仕事についてていあん文を書きましょう。 p. 90~91	1	<p>①これまで学習してきたことをふり返り、農業や工場、商店がよりよいものになるよう考え方を話し合い、提案文を書く。</p> <p>[あまおう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の献立に入れるとよい。 ・あまおうの豆知識を書いたしおりを配る。 <p>[おかし]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おかし祭りを開く。 ・子どもがおかしの包装紙を考える。 <p>[スーパー・マーケット]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー・マーケットに生産者を呼ぶ。 ・スーパー・マーケットで売っている食材の料理のしかたを知らせる。 <p>地域に見られる生産の仕事や販売の仕事は、わたしたちの生活と身近なところでつながっている。</p>	<p>◆仕事の内容や工夫、願いなど学んだことを生かして、提案文を考えさせる。</p> <p>◆「まなび方コーナー」を活用し、提案文を書く方法を確認する。</p>	<p>学習をふり返り、市の生産や販売の仕事について、よりよいものになるよう考えて提案文をつくる。【1時間】</p> <p>※各自で作成した提案文を提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

単元名	3. くらしを守る (オリエンテーション)			教科書のページ	p. 92~93
配当時数	1 時間 (学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし)		活動時期	11月	学習指導要領の内容 (3) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) くらしの安全を考えよう				
・わたしたちの安全なくらしを守るはたらきについて考えてみましょう。 p. 92~93	1	<p>①新聞やテレビのニュース、自分の体験などを思い出しながら話し合い、安全なくらしをつくるためのしくみや人々の働きに关心をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事が起きたときは、消防署からたくさんの人人が来て火を消している。 ・夜に警察の人たちが検問をしていた。 ・通学路で駐車違反の取り締まりをしているところを見た。 ・まちには、わたしたちの安全を守るために働いてくれる人がいるから安心して生活できている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて わたしたちの安全なくらしを守るために、まちでは、どこでどのような人たちがはたらいているのでしょうか。</p> </div>	◆教科書の写真などから、災害や事故・事件の現場で働いている人の姿に注目させる。	

小単元名	1. 火事からくらしを守る			教科書のページ	p. 94~107
配当時数	7 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動 2 時間)	活動時期	11~12 月	学習指導要領の内容	(3) アー(7)(イ), イー(ア)

小単元の目標		火災から地域の人々の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることで関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に對処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようになるとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①施設・設備などの配置、消防署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを地図や文などにまとめ、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問い合わせを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え方表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え、選択・判断したりして、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 火事が起きたら				
・つかむ 火事が起きると、どのような人が、どのようなことをするのでしょうか。 p. 94~95	1	①火事が起きたときのイラストを見て、気づいたことを話しあう。 [人] • 消防士 • 警察官 [仕事] • 消防士が、火を消している。 • 警察官が、交通整理をしている。 • 救急車で、けが人を運んでいる。 火事が起きると、消防士が現場に到着して消防活動を行い、さまざまな人々が協力して消防や救助の活動をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「まなびのポイント」を活用し、どんな人がどんな仕事をしているかを問い合わせて観点をもたせるようにする。 ◆ 自分たちの学校の近くの消防署はどこにあるかを地図で調べるようにする。 	教科書のイラストを見て、火事が起きたときのさまざまな人々の働きについて気づいたことをノートに書く。【1時間】

(2)火事をふせぐ

- ・つかむ イラストやグラフを見て、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。

p. 96~97

1

- ①イラストを見て、気づいたことを話し合う。
- ・119番の電話から5分で、消防自動車が到着している。
- ・どうしてこんなに早くかけつけることができるのか。
- ②二つのグラフを見て、火事の数の変化や原因について話し合い、学習問題をつくる。
- ・火事の原因はいろいろあるが、火事の数が減っている。
- ・どうして火事の数が減ったのか。

◆p.39の「まなび方コーナー」を活用してグラフの読み取りをする。火事の数は、数値の読み取りに留まらず、数の変化をとらえられるようにする。

学習問題 火事が起きたときや火事をふせぐために、だれが、どのようなはたらきをしているのでしょうか。

- ③学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方を話し合う。
- ・消防士の仕事について調べよう。
- ・消防署に行って、見学したり話を聞いたりする。
- ・火事からわたしたちのくらしを守る人たちの働きについて関係図にまとめる。

(3) 消防しょへ行こう			★他教科との関連：算数
・調べる 消防しょの人たちは、どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 98~99	1	<p>①消防士の話を聞いたり、訓練の様子や道具などを観察したりして、わかったことを整理する。</p> <p>②消防署で働く人の話を読み、火事から暮らしを守る取り組みについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早く火事の現場にかけつけ、確実に消火できるように訓練している。 ・器具を点検している。 <p>③消防署や消防士の写真などから、火事に備えてどのような準備をしているかを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火服は、1200度の火に約17秒間たえられる。 ・消防自動車は、火事の場所や大きさによって違う。 <p>消防署の人たちは、地域の安全を守るために、火事が起きたときに迅速に対応している。また日頃から火事に対応するための訓練などをを行い緊急時に備えている。</p>	<p>◆教科書 p. 43 の「まなび方コーナー」をもとにして、施設見学のしかたを確認させる。</p> <p>◆見学がかなわない場合には、教科書の記述や写真資料等を丁寧に読み取るようにする。特に、「何のために調べているのか」を問い合わせながら、調べるねらいを明確にし、学習問題の解決に向かっていることを意識させる。</p> <p>◆消防署の人たちは、火事に備えて、さまざまな準備をしていることを気づかせる。</p>
(4) 通信指令室とさまざまな人々のはたらき			
・調べる 119番に電話をかけると、どこにつながり、どこへれんらくが行くのでしょうか。 p. 100~101	1	<p>①火事が起きたときの連絡の流れについて、イラストで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署：消防自動車や救急車を出動させる。 ・ガス会社、電力会社、水道局：協力してもらう。 <p>②通信指令室の様子について、働く人の話から調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への連絡をしている。 ・大きな火事のときはほかの市や町にも応援を頼んでいる。 	<p>◆火事の現場で、どのような人たちが協力し合っているかを考えさせ、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることをとらえられるようとする。</p> <p>◆通信指令室と関連機関の関わりについて調べる際、「どこへ」「何のために」連絡をするのかを問い合わせ、具体的な関連について</p>

		<p>火事が起きたとき、さまざまな関係機関が、通信指令室を中心にネットワークを活用し、相互に連携して迅速に対処する体制をとっている。</p>	明らかにさせる。	
(5) まちの消防しせつをさがそう				
・調べる わたしたちのまわりには、どのような消防しせつがあるのでしょうか。 p. 102~103	1	<p>①地域にある消防施設を調査して地図に表したり、地図を見てわかったことや考えたことをもとに話し合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちには、消火栓や防火水槽があった。 ・消火栓や避難場所などは、地域に必ずつくるように決められている。 ・住宅には、火災報知器を取り付けることも決められている。 <p>まちにはさまざまな消防施設が設置されており、火事などの災害が起きたときのために、避難場所も定められている。</p>	<p>◆地域に出て消防施設を調査する際には、教科書の写真資料や「ことば」を事前に確認させる。</p> <p>◆なぜ、さまざまなところに消防施設があるかについて話し合い、緊急時に備えて工夫や努力をしていることに気づかせる。</p> <p>◆地域の人たちによる、火事からくらしを守る自主的な活動に目を向けさせる。</p>	

(6) 地いきの消防団の取り組み			
・調べる 火事が起きたときや火事をふせぐために、地いきではどのような取り組みが行われているのでしょうか。 p. 104~105	1	<ul style="list-style-type: none"> ①消防団の訓練を見学したり消防団員に聞き取りをしたりして、消防団の取り組みについて話し合う。 ・倉庫にある器具を点検している。 ・消火などの訓練をしている。 ・火事、台風、地震などが起きたときに消防署の人たちと協力して、消火や救助の活動を行っている。 ・防火の呼びかけをしている。 ・普段は別の仕事をしている。 ・子ども消防クラブでは、子どもも参加している。 <p>消防団は、地域の人が集まり、消防署と協力しながら火事に備えて訓練したり、防火を呼びかけたりしている。</p>	<p>◆「ことば」をもとにして、消防士との違いを明らかにさせたり、消防団のねらいを明らかにさせたりする。</p> <p>◆見学がかなわない場合、自分たちがくらす地域にも同じような取り組みがないか調べさせ、自分たちのまちは自分たちで守ることをとらえられるようにする。</p> <p>※学習のまとめ方について、何を基に、どのようにまとめるのか、次時の①②について説明をする。</p>
(7) 火事からくらしを守る人々のはたらき			
・まとめ 関係図をつくり、火事からくらしを守る人々のはたらきについてまとめましょう。 p. 106~107	1	<ul style="list-style-type: none"> ①これまでに調べた火事からくらしを守る人々の活動を、関係図にまとめる。 ・消防士は、日頃から訓練をして、火事が起きたときのために備えている。 ・さまざまな人々が協力している。 ・消防団のように、地域の人々の働きも大切である。 ②「火事をふせぐためには、どうしたらよいか」について話し合う。 ・消防団のさまざまな取り組みに参加する。 ・身のまわりでも、火事を防ぐためにさまざまに気をつけていくようにする。 	<p>◆これまでの学習をふり返り、人に注目して、火事からくらしを守る働きについて考えさせる。</p> <p>◆地域のさまざまな関係機関は、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、協力して火災の予防に努めていることに気づかせる。</p> <p>◆話し合ったことをもとにして、緊急時への備えについて意見文に書くようにする。</p> <p>教科書やノートを見ながら学習をふり返り、火事からくらしを守る人々のはたらきをまとめた関係図をつくる。【1時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

		<p>火事から地域の人々の安全を守るために、消防署などの関連機関は相互に連携して、緊急時に對処する体制をとったり地域の人々と協力したりしながら火事の防止に努めている。</p>		
--	--	---	--	--

小単元名	2. 事故や事件からくらしを守る			教科書のページ	p. 108~119
配当時数	6 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動 1 時間)	活動時期	1 月	学習指導要領の内容	(3) アー(ア)(イ), イー(ア)

小単元の目標	事故や事件から地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめてることで関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に對処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故の防止に努めていることを理解できるようになるとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。				
	知識・技能	①施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを地図や文などにまとめ、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。			
	思考・判断・表現	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問い合わせ出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え、選択・判断したりして、適切に表現している。			
小単元の観点別評価規準	主体的に学習に取り組む態度	①地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしている。			

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行なうことが考えられる教材・学習活動
(1) 身近な地いきのあぶない場所				
・つかむ 身近な地いきのあぶない場所について話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 108~109	1	①教科書のイラストを見ながら、身近な地域でどのような場所が危ないかを発表し合う。 • 通学路の踏切。踏切が降りるときに侵入していく危ない。 • 交番がある。 ②グラフを見て、事故と事件の数が変化していることを確かめ、どうしてそのように変化しているかを話し合う。 • 事故と事件は、減ってきてている。	◆教科書のイラストから、危ない場所を読み取らせ、その原因についても考えさせる。 ◆自分たちの学校の近くの交番はどこにあるかを地図で調べるようにする。 ◆身近な交番の警察官に注目	

		<ul style="list-style-type: none"> 事故と事件が減っているのは、いろいろな人の協力があったからだ。 <p>学習問題 事故や事件からわたしたちの安全を守るために、だれが、どのようなはたらきをしているのでしょうか。</p>	<p>させ、安全を守るための活動に关心をもたせる。</p>	
		<p>③学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察官の仕事について調べよう。 ・警察署や交番で話を聞こう。 ・安全を守るためのはたらきを表にまとめる。 	<p>◆前小单元「火事からくらしを守る」の学習を想起させ、調べる方法・まとめ方等を考えるようにする。</p>	

(2) けいさつの仕事

<ul style="list-style-type: none"> 調べる けいさつしょの人たちは、どのような取り組みをしているのでしょうか。 <p>p. 110~111</p>	1	<p>①地域社会で見かける警察の仕事を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の呼びかけをしているパトカーを見たことがある。 ・交番では、警察官に道案内や落とし物の相談をしていました。 <p>②交番で働く警察官の話を読み、安全を守る取り組みについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を減らすためには、法やきまりを守ることが大切だ。 <p>警察官は、地域の安全を守るために、地域社会の中できまざまな活動をして事故などの緊急時に備えている。</p>	<p>◆警察の仕事にはさまざまなものがあることを、人に注目させながら調べ、考えさせる。</p> <p>◆安全な生活を守るために、自分たちができることとして、ルールやきまりを守ることが大切であるということに気づかせる。</p> <p>◆警察官のほかに、だれがまちの安全を守っているか考えさせる。</p>	
---	---	---	--	--

(3) 事故が起きたら

<ul style="list-style-type: none"> 調べる 事故が起きたとき、さまざまが人がすぐにかけつけることができるのには、なぜでしょうか。 <p>p. 112~113</p>	1	<p>①交通事故現場で働く人のイラストから、事故がどのように処理されるかを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人が協力している。 ・救急車や消防自動車も現場にかけつけて 	<p>◆交通事故の現場で警察はどのような人たちと協力し合っているかを考えさせる。</p> <p>◆事故が起きたときには、ど</p>	
--	---	--	---	--

		<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしてすぐに事故の現場にかけつけることができるのだろう。 <p>②事故が起きたときの連絡の流れについて、イラストから調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事の時と同じように、連絡はまず通信指令室に届く。 ・連絡を受けた関係機関は、直ちに事故現場に向かっている。 <p>事故が起きたとき、さまざまな関係機関が、通信指令室を中心にネットワークを活用し、相互に連携して迅速に対処する体制をとっている。</p>	<p>のような流れをたどって連絡が届き、事故の処理が行われているかを、「火事」の学習を想起させながら考えるようにする。</p>	
--	--	---	---	--

(4) 安全なまちづくり

<p>・調べる 地いきの人たちは、まちの安全を守るためにどのような活動をしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p. 114～115</p>	<p>1</p> <p>①こども 110 番の家など学校周辺における安全を守る活動について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども 110 番のステッckerを見たことがあるよ。 ・登下校のとき、地域の人がパトロールしているところを見たことがある。 <p>②「わたしたちのまちの安全を守るしくみ」の図から、地域の人が安全を守る活動について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の安全を守っているのは、警察だけでなく、お店の人や地域の人もいる。 ・こども 110 番のほかに、地域にはどのような取り組みがあるのだろうか。 <p>こども 110 番の家の設置など、関係機関が地域の人々と協力して、地域の安全を守っている。</p>	<p>◆身近な地域の様子を思い浮かべながら話し合わせる。</p> <p>◆なぜ、さまざまなところで地域の人たちが活動しているかについて話し合い、事故や事件が起こらないように工夫や努力をしていることに気づかせる。</p>	
--	---	---	--

(5)地いきでの取り組み				
・調べる 地いきの人たちは、安全なまちづくりのために、どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 116~117	1	<p>①町会や商店街などの地域社会における安全を守る取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な場所を書き入れた安全マップをつくっている。 ・町会や商店街など、さまざまな人たちが一緒になって、安全なまちづくりを進めている。 <p>地域の人々は、警察やPTA、市役所などと連携しながら安全なまちづくりに努めている。</p>	<p>◆地域の人たちによる、安全を守る自主的な活動に目を向けさせる。</p> <p>◆安全マップなど、自分たちの地域でも取り組んでいる活動があることを気づかせる。</p>	<p>※学習のまとめ方について、何を基に、どのようにまとめるのか、次時の①②について説明をする。</p>
(6)安全を守る人の活動をまとめる				
・まとめる まちの安全を守る人について表をつくり、事故や事件からくらしを守るはたらきについてまとめましょう。 p. 118~119	1	<p>①これまでに調べた安全を守る人々の活動を、表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人は、協力して安全なまちづくりを進めている。 ・自分も協力できることがあったら、協力したいと思う。 <p>②「事故や事件をへらすには、どうしたらよいか」について話し合い、意見文を書く。</p> <p>事故や事件から地域の人々の安全を守るために、警察署などの関連機関は相互に連携して、緊急時に対処する体制をとったり地域の人々と協力したりしながら事故などの防止に努めている。</p>	<p>◆これまでの学習をふり返り、人に注目して、安全を守る仕事について考えさせる。</p> <p>◆安全なまちづくりを実現するため、警察の人が協力していることに気づかせる。</p> <p>◆話し合ったことをもとにし、緊急時への備えについて意見文に書くようにする。</p>	<p>教科書やノートを見ながら学習をふり返り、まちの安全を守る人の活動について教科書の表にまとめ、事故や事件を減らすためにはどうしたらよいかについて考え、意見文を書く。【1時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1)自分たちにもできること				
<p>・いかす わたしたちのくらしを守るために、自分たちにもできることを考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p. 120~121</p>	1	<p>①学習してきたことをふり返り、自分たちにもできることはないか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署のホームページに「火の用心の7つのポイント」があるから、自分もやってみたい。 ・東京交通少年団の取り組みに参加してみたい。 <p>②わたしたちのくらしを守っていけるようにするための、標語をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「火の用心 主役はいつも わたしたち」 ・つくった標語は、みんなに伝えたい。 <p>地域の安全なくらしを守る取り組みをふり返り、地域社会の一員として自分たちにできることを標語にしてまちの人に伝えることは、地域や自分自身の安全を守ることにつながる。</p>	<p>◆「まなび方コーナー」を参考にして、標語のつくり方を確認させる。</p> <p>◆つくった標語を、それぞれ比べてみて、くらしを守る意識を高めさせる。</p>	

単元名	4. 市のうつりかわり (オリエンテーション)			教科書のページ	p. 122~123
配当時数	1 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動 1 時間)	活動時期	2 月	学習指導要領の内容	(4) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行なうことが考えられる教材・学習活動
(1) オリエンテーション				
・わたしたちのまちの、昔の様子を見てみましょう。 p. 122~123	1	<p>①教科書のイラストを読み取り、今と違うことや変わってきたことを話し合う。</p> <p>[おじいさん・おばあさんが子どものころ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気機関車が走っている。 ・今は見かけない形の車がある。 ・着物を着た人がいる。 ・田んぼが多い。 ・今と違って、港のあたりは砂浜が広がっている。 <p>[お父さん・お母さんが子どものころ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線が走っている。 ・道路が整備された。車の数も増えた。 ・高い建物が増えた。学校も大きくなつた。 ・砂浜が埋め立てられた。 ・田んぼが減って、家が増えた。 <p>[今]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い建物がさらに増えた。 ・駅や港の施設も大きくなつた。 ・田んぼや畑はほとんどない。 ・まちの様子は大きく変わっているけれど、神社やお菓子屋さんのように、変わらず残っているところもある。 	<p>◆イラストの中から、小単元の学習で着目する視点（交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具）などをそれぞれ意識して見つけさせる。その際、現在とどんなところが違うのか説明させるとよい。</p>	教科書のイラストを見て、まちの様子がどのように変わっているのかを考え、気づいたことや疑問に思ったことをノートに書く。【1時間】

めあて　わたしたちのまちや人々のくらしは、どのようにかわってきたのか調べてみましょう。

小単元名	1. 市の様子と人々のくらしのうつりかわり			教科書のページ	p. 124~141
配当時数	10 時間 (学校の授業以外の場において行うこと が考えられる教材・学習活動 1 時間)	活動時期	2~3 月	学習指導要領の内容	(4) ア~(ア)(イ), イ~(ア)

小単元の目標	市の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめて市や人々の生活の様子をとらえ、それらの変化を考え、表現することを通して、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。		
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市や人々の生活の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。	
	思考・判断・表現	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問い合わせを見出し、市や人々の生活の様子について考え表現している。 ②駅や鉄道、公共施設ができたこと、人口が変化してきたこと、土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり、市の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして、市の人々の様子の変化を考え、適切に表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	①市の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、これからの市の発展について考えようとしている。	

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) かわってきた明石駅				
・つかむ 明石駅のまわりはどうのかわってきたのでしょうか。 p. 124~125	1	①「70 年から 60 年ほど前」「50 年から 40 年ほど前」「今」の 3 枚の明石駅前の写真をくらべて気づいたことを発表する。 • 写真の色が違う。 • きれいになってきた。 • 高い建物が建ってきた。 • 道路が広くなった。 • 鉄道が増えた。 ②「近くに住むおばあさんの話」などから昔の様子についてわかったことを発表する。 • 戦争の空襲でまちは	◆事前に身近な人から、昔の様子について聞いてくるように指示しておく。 ◆明石駅前の 3 枚の写真を比べながら、特徴のある建物や交通の様子の変化に気づかせる。 ◆明石駅前の様子の変化から時期の区分を意識させる。	

		<p>焼けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後に大きな火事が あった。 ・頑張って新しいまち をつくった。 <p>明石駅のまわりは、昔 から今に至るまで、建 物や施設などの様子が 変わってきた。</p>		
(2)かわってきたわたしたちの市				
・つかむ 市の様子のうつり かわりについてぎもんに思 つたことを話し合い、学習 問題をつくりましょう。 p. 126~127	1	<p>①「70年から60年ほど 前の明石市の土地の 高さと土地の使われ 方」と「今の明石市 の土地の高さと土地 の使われ方」の地図 を比べて、気づいた ことや疑問に思った ことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や店が多くなっ た。 ・土地が広がった。 ・鉄道や工場が増え た。 ・田や畠が減った。 ・市はいつごろから変 わってきたのだろう か。 ・くらしはどうよう に変わってきたのだ ろうか。 <p>②疑問に思ったことを もとにして学習問題 をつくる。</p>	<p>◆「市の様子」の 学習で作成した 地図を使いなが ら、昔と今との違 いを考えさせ る。</p> <p>◆時期によって市 の様子が違っ ていることに気づ かせ、市の移り 変わりに関心を もたせる。</p>	
		<p>学習問題 わたしたちの市は、いつごろ、 どのようにかわってきたのでしょうか。</p> <p>③学習問題について予 想し、調べること・ 調べ方・まとめ方に について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通や土地利用、人 口、公共施設、道具 の移り変わりについ て調べる。 ・博物館や市役所に行 って、見学や聞き取 り調査をする。 ・市の様子やくらしの 移り変わりについて 年表にまとめる。 		

(3) 道路や鉄道のうつりかわり					
・調べる 市の交通は、どのようにかわってきたのでしょうか。 p. 128~129	1	<p>①「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の鉄道や道路の地図を比べて、交通が整備されてきた様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代に明石駅ができた。 ・昭和の初めごろに道路や鉄道が整備された。 ・1970年ごろに高速道路や新幹線ができた。 <p>②道路や鉄道が整備されることによって、わたしたちの生活はどう変わってきたのかについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が通りやすくなつて便利になった。 ・新幹線ができてはやく移動できるようになった。 ・交通が便利になつて、家や工場が増えたのではないか。 <p>明石市の主要な道路や鉄道などの交通網は、昔から今に至るまで計画的に整備されてきており、人々の生活も変わってきた。</p>	<p>◆鉄道と道路の広がりに着目して、時間の経過に伴う生活の変化について考えさせる。</p> <p>◆鉄道や道路の変化と既習の p. 126~127 の「明石市の土地の高さと土地の使われ方」の二つの地図の変化を関連付けて考えさせる。</p>		
(4) 土地の使われ方のうつりかわり					
・調べる 市の土地の使われ方は、どのようにかわってきたのでしょうか。 p. 130~131	1	<p>①「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の土地の使われ方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70年から60年ほど前に比べて、田や畑が減った。 ・森林がどんどん減ってきた。 ・50年から40年ほど前から家や店が増えた。 ・海を埋め立てた土地は工場や公園に使われている。 	<p>◆既習の p. 126~127 の二つの地図を使いながら、土地利用図に色分けを行い、時期による違いを考えさせる。</p>		

		<p>②土地の使われ方の変化からわかるについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や店が増えたということは、人の数も増えたのではないか。 ・人がたくさん住み、生活するようになって、大きな団地や人口の島がつくられたのではないか。 ・人々が楽しく生活できるように公園がつくられたのではないか。 <p>明石市の土地利用の様子は、昔から今に至るまで大きく変化しており、人々の生活も変わってきた。</p>	<p>◆土地の使われ方として何が増え、何が減ったかに着目して、時間の経過に伴う生活の変化について考えさせる。</p>	
--	--	---	--	--

(5) 人口のうつりかわり

★他教科との関連：国語

<p>・調べる 市の人の数は、どのようにかわってきたのでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">p. 132～133</p>	<p>1</p> <p>①市の人口の移り変わりのグラフを読み取り、気づいたことや疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の人口は増えている。 ・人口が大きく増えている時期がある。 ・なぜ人口が急に増えたのだろうか。 <p>②人口の変化と土地の移り変わりの資料から、人口が増えた理由について考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石市は、1942年と1951年にまわりの町や村と一緒にになっている。 ・人口の増加と土地の広がりは関係があるそうだ。 <p>③最近の人口の変化についての資料から、わかったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の増え方がおだやかになってきた。 ・お年寄りの人数が平 	<p>◆市の人口の変化と土地の広がりに着目して、その関係について考えさせる。</p> <p>◆市役所の人へのインタビューのしかたを指導する（「まなび方コーナー」を活用）。</p>	
---	---	---	--

		<p>成になってから急に増えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の人の数も増えている。 <p>明石市の人口は、昔から今に至るまで市町村の合併などの土地の広がりに合わせて増えており、今では特に、お年寄りや外国の人の数が増加してきた。</p>		
--	--	---	--	--

(6) 公共しせつのうつりかわり

<p>・調べる 市の主な公共しせつは、いつごろできたのでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">p. 134~135</p>	1	<p>①わたしたちの学校や市の学校はいつ頃できたのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの学校は明治時代にできている。 ・市の学校の数は増えている。 ・ため池を埋め立ててつくった学校もあるそうだ。 <p>②どのような公共施設がいつ頃できたのか、調べてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔に比べて公共施設は増えている。 ・50年ほど前にたくさんつくられている。 ・便利な施設が増えている。 ・公共施設は、だれが、どうやってつくっているのだろうか。 <p>明石市の学校や図書館などの公共施設は、昔から今に至るまで計画的に建設されており、税金を使って整備された施設によって人々の生活も変わってきた。</p>	<p>◆自分たちが利用したことのある公共施設を想起させながら、その移り変わりについて関心をもたせる。</p> <p>◆「市の様子」で学習した公共施設の種類、場所、目的と関連付けて施設の移り変わりについて考えさせる。</p>	
---	---	---	---	--

(7) 道具とくらしのうつりかわり

<p>・調べる くらしの中の道具は、どのようにかわってきたのでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">p. 136~137</p>	1	<p>①くらしの道具の移り変わりについて、調べたことを道具年表にまとめ、わかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔と今の道具は大き 	<p>◆洗濯機などの生活の道具の移り変わりに着目して、くらしの変化について考えさせる。</p>	
--	---	---	---	--

		<p>な違いがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は電気を使わない道具だった。 ・洗濯機やガスコンロなどの道具は改良されて生活が便利になった。 <p>昔から今に至るまで、暮らしをよりよくしようとする人々の願いによって道具はさまざまに工夫され使われてきており、人々の生活も変わってきた。</p>	<p>◆道具年表のつくり方を指導する（「まなび方コーナー」を活用）。</p>	<p>※学習のまとめ方について、何を基に、どのようにまとめるのか、次時の①について説明をする。</p>
(8)(9)市のうつりかわりをまとめてみよう	2	<p>①学習問題を確認した上で、これまで調べたことを一つの年表に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の様子、交通、土地の使われ方、人口、公共施設、暮らしの道具 <p>②年表を見ながら時期ごとの変化についてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石市は70年から60年ほど前に、まわりの市町村が一緒になって土地が広がり、人口も増えた。 ・昭和の初めに道路や鉄道が整備された。 ・50年から40年ほど前に高速道路や新幹線が整備された。 ・新しい暮らしの道具が使われるようになり、生活が便利になった。 ・明石市はこれからどのように変わっていくのかな。 <p>市や人々の生活の様子は、交通網の整備や公共施設の建設、土地利用や人口の変化、生活で使う道具の改良など、時間の経過に伴い移り変わってきていく。</p>	<p>◆小単元で使った「ことば」を生かしながら年表をまとめるように指示する。</p> <p>◆「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の3つの時期ごとの変化の傾向について考えさせる。</p>	<p>教科書やノートを見ながら学習をふり返り、市の移り変わりについて整理し、年表にまとめる。【第8時(1時間)】</p> <p>※第8時で各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。第9時は授業で行い、年表をもとに、わかったことを話し合い、学習のまとめをする。</p>

(10) 市のはってんのために

<p>・いかす わたしたちの市のこれからについて考えましょう。</p> <p>p. 140~141</p>	1	<p>①市の発展のための取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが住みたい・住みつけたいまちを目指している。 ・天文科学館は市の「たからもの」だね。 <p>②学習してきたことを生かしながら、これからどのような明石市になってほしいかを話し合い、ポスター「みらいの明石市」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもやお年寄りが楽しくくらせるまちにしたい。 ・ほかのまちに短い時間で行き来できる、便利なまちにしたい。 ・体の不自由な人や外国人の人もくらしやすいまちにしたい。 ・明石市のよいところを紹介して、たくさん的人に集まって欲しい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>明石市の人々は、市の発展のためにさまざまな取り組みをしており、わたしたちも市の未来について考えていくことが大切である。</p> </div>	<p>◆市の広報紙などを手がかりに、市の発展のための取り組みについて調べさせる。</p> <p>◆今まで学習した教科書の資料や、ノートの記述などを見直させて、これからの市の発展について考えるよう助言する。</p>
---	---	---	--